

【平成30年度 穴吹高等学校 学力向上実行プラン】

| 重点目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 学校関係者の意見 | 次年度への課題・改善策 | |
|--|--|--|--|--|--|
| | 評価指標と活動計画 | 評価 | | | |
| 1 自らの将来を具体的に思い描き、主体的に学習することを通して、基礎学力の伸長と進路実現を図る。 | <p>評価指標</p> <p>1 基礎学力養成のため校内で漢字テストおよび英単語テストを実施し、年間平均85点以上の優秀者の割合を漢字テストでは各学年25%以上、英単語テストでは各学年15%以上を目指す。</p> | <p>評価指標による達成度</p> <p>1 年間平均85点以上の優秀者の割合</p> <p>漢字テスト</p> <p>〔1学年〕 32.8%</p> <p>〔2学年〕 39.3%</p> <p>〔3学年〕 46.4%</p> <p>英単語テスト</p> <p>〔1学年〕 35.8%</p> <p>〔2学年〕 38.2%</p> <p>〔3学年〕 29.0%</p> | <p>学校関係者評価</p> <p>○ 基礎学力養成のための小テストの実施、成績優秀者の達成度の高さは、高く評価される。</p> <p>○ 成績不良者へのきめ細やかな事後指導を継続し、各教科の基礎学力向上に今後とも尽力していただきたい。</p> | <p>○ 進学・就職を問わず、今後自ら学ぶ姿勢が必要であることを機会あるごとに話し、基礎学力の定着を促す。</p> <p>○ 引き続き、国語・数学・英語の授業およびホームルーム活動で学び直し教材やテスト対策の事前指導を実施し、基礎学力の定着を目指す。</p> <p>○ 家庭学習調査を定期考査ごとに実施し、学習状況を確認するとともに家庭学習の定着につなげる。</p> <p>○ 今後より主体的な進路決定に臨めるよう、体験的な学びの場を設定したり、情報量を増やしたりすることで、能動的なキャリア学習を重ねさせたい。</p> | |
| | <p>2 1年生で国語・数学・英語の基礎教科に関して学び直しを行い、認定テストの最上級の合格率を80%以上とする。</p> | <p>2 1年生認定テスト最上級合格率</p> <p>国語 96.8%</p> <p>数学 87.1%</p> <p>英語 48.4%</p> | | | |
| | <p>3 学力の定着を図るため家庭学習を促し、特に定期考査期間中、各学年において一人あたりの1日平均学習時間2時間以上を目指す。</p> | <p>3 一人あたりの1日平均学習時間</p> <p>〔1学年〕 2.7時間</p> <p>〔2学年〕 2.8時間</p> <p>〔3学年〕 2.6時間</p> | | | |
| | <p>活動計画</p> <p>1 実施日に向けて国語科・英語科を中心に事前対策を行い、各学年・クラスでも学習を奨励し、校内表彰に加えて学年表彰を設けることで漢字および英単語の習得を奨励する。</p> | <p>1 活動計画の実施状況</p> <p>1 国語科・英語科と担任が協力して事前指導を実施した。また事後指導として、課題プリント学習を行った。</p> | | | |
| | <p>2 授業および課外学習での学習時間を確保するとともに、定期考査の範囲に盛り込むことにより学習意欲の高揚と持続を図る。</p> | <p>2 授業および課外学習で学習時間を確保し、定期考査の問題に入れることで、繰り返し学ぶことができた。</p> | | | |
| | <p>3 考査期間を含む1週間の家庭学習調査を実施し、生活スタイルの見直しや適切な学習内容について担任が助言する。</p> | <p>3 家庭学習時間を記入させることで、生徒の学習状況を担任が把握できた。また面談の際に学習時間記入用紙をもとに話し、勉強不足の事実を保護者にも伝えられた。</p> | | | |
| | | | | | <p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>B</p> <p>(所見)</p> <p>活動計画の実施状況については概ね計画通りに実施でき、評価指標を達成した。特に、3年生の漢字テストでは、努力が成果に結びついた。</p> <p>3年生の進路決定率は、2月末現在で95.7%となっている。</p> |

| | | | | |
|---|--|---------------------------|---|--|
| 2 生徒会活動や学校行事を通して、自主的・実践的な態度を育てる。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | ○ 生徒会活動や学校行事が活発に行われていることがよくわかる。学校行事への参加率が99%に達していることが素晴らしい。学校が居心地のいい場所になっている証である。 ○ 今年度と同じく、各部の清掃活動について、重点的に行う場所や時期を指定する。また、部活動生による校外清掃の機会を増やす。 ○ 生徒数が減少するなかで、学校行事や部活動をどのように改善していけば良いかを考え、精選する必要がある。 |
| | 1① 学校行事への参加生徒率90%以上を目指す。 | 1① 学校行事における参加生徒率は99%であった。 | (評定) A | |
| | ② 生徒会役員があいさつ運動を毎週月・金曜日に実施する。 | ② 毎週月・金曜日にあいさつ運動を実施できた。 | (所見) 生徒会活動や委員会活動等、生徒を主体とした活動を充実させることにより、生徒の責任感も向上した。学校行事については、概ね前向きに参加できているというアンケート結果が出ている。昨年度同様、校内行事の内容や運営を精選した成果である。 | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| 1① 生徒会や各クラスの生徒が自主的・主体的に企画・運営できるよう適切な指導を行う。 | 1① 学校祭の内容について、生徒会役員を中心に夏休み前から検討を重ねた。球技大会や体育祭に関するアンケートを実施し、できるだけ生徒の希望に沿った内容に変更した。 | | | |
| ② 生徒会役員がリーダーとなって積極的にあいさつを行い、全校生徒が挨拶を交わせる習慣を身につけさせる。 | ② 生徒会役員によるあいさつ運動により、一層積極的にあいさつをする生徒の姿が見られた。 | | | |

* 「評定」の基準

A:十分達成できた B:概ね達成できた C:達成できなかった

【平成30年度 徳島県立穴吹高等学校 学力向上推進員 学力向上検討委員】

| | | | | | | | | | |
|---------|-------|----------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 学力向上推進員 | 北谷 恵美 | 学力向上検討委員 | 佐尾山 晴実 | 藤本 雅志 | 野田 委 | 妹尾 利子 | 長谷 高宏 | 佐藤 初恵 | 森實 琴美 |
|---------|-------|----------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|